

令和3年9月 東御市教育委員会 定例会会議録

1 日 時

令和3年(2021年)9月27日(月) 午前9時00分から11時05分まで

2 場 所

中央公民館 学習室5

3 議 題

- (1)不登校対応について
- (2)学校 ICT 教育について
- (3)報告
 - ア 新型コロナウイルス感染予防対策について
 - イ 令和2年度分定期監査報告について
 - ウ 教育課
 - (ア)修学旅行について
 - (イ)いじめの状況等について
 - (ウ)CRT学力検査及び全国学力状況調査の結果について
 - (エ)通学路の緊急合同点検について
 - (オ)就学援助費支給の認定について
 - エ 生涯学習課
 - (ア)図書館まつりについて
 - オ その他

4 出席者

○教育長 小山 隆文

○委員

教育長職務代理者 下村 征子

委員 小林 経明

委員 直井 良一

委員 五十嵐 英美

○その他

山邊教育課長、樋沢生涯学習課長

土屋学校教育係長、正村社会教育・公民館係長、増田青少年教育係長

長岡指導主事、畑田指導主事、山口指導主事、岡澤指導主事

中村学校教育係主査、土屋学校教育係主査

会議録

山邊教育課長

ただいまから、9月度定例教育委員会を始めます。教育長から開会宣言をお願いします。

小山教育長

9月度定例教育委員会を開会します。

さて、9/15（水）に信毎に載り、ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、田中小学校で「避難訓練」が実施され地元消防団である第一分団の皆様方に出動を頂き「避難訓練」の講評を頂くと共に、ポンプ操法大会そのままの放水訓練の様子を見させて頂きました。

団員の皆さんの「指示・伝達の大きな声」に、また「放水開始までの迅速な動き」に、日頃からの訓練の大切さを学ばさせて頂く機会になりました。

小林団長以下20名弱の皆様方にご参加を頂きましたが、現PTA会長さんを含め約半数の方が田中小学校の保護者の方であることも分かりました。我が子だけでなく地域の子も達のためという思いで、仕事を休まれてのご参加に感謝の気持ち一杯になりました。

関係する子ども達だけでなく多くの子ども達にとっても「早朝からの訓練」や「火災時の消火活動」、「災害時の救助活動」に頑張っているお父さんをはじめとする地域の方の頑張りに、理解を深めてくれたのではないかと思います。ハンドマイクを手にした小林団長からは要領を得た大変解り易いお話を頂き、子ども達にも十分伝わったものと思いました。

教育活動を推進する学校の時間には限りがありますので、この「避難訓練」を「避難訓練」でだけ終わらせず、「防災教育」にも繋げて頂きたいということで、以前から校長会等を通してお願いして参りましたが、どの学校も地元の消防団の皆様方にご協力を頂けるどころまでになりました。

子ども達は災害現場を実際に見に行くことは出来ませんので、これからも地元の消防団の皆様方との繋がりを大切にして「防災教育」を推進して参りたいと考えております。

続いて報告ですが、9/24（金）より、2回目になります校長面談を職務代理の下村委員とご一緒に始めさせて頂きました。学校課題を共有しながら、不登校支援が第一かと思いますが、学校全体の支援の在り方を探って参りたいと考えております。

尚、本日の午後になります「小学校等における防犯カメラの設置促進に関する協定締結式」が上田警察署で開かれます。花岡市長と共に出席をしますが宜しくお願い致します。前回の定例教でお伝えしましたように、株式会社ダイドードリンコ様の自販機の売り上げから寄贈・設置が進められていく訳ですが、有り難いことに、本市でも、株式会社アメニティーズ様やコトヒラ工業株式会社様のご協力で、田中小学校と滋野小学校への寄贈が決定致しました。10月中には設置される予定であります。以上です。本日は宜しくお願い致します。

小山教育長

(1) 不登校対応については個人情報の関係もありますので非公開とします。よろしいでしょうか。

全委員

異議なし。

小山教育長

それでは、非公開とします。

小山教育長

続きまして、(2)学校 ICT 教育について説明を求めます。

山口指導主事

各校のタブレット・デジタル教科書等の活用について、9月中旬ごろまでの利用状況です。全体を通して、タブレットは学年や教科に合わせた活用や欠席した児童への共有など様々な工夫をされており、良いところや課題、要望等があがってきております。

直井委員

先日学校で活用状況を拝見させてもらった際に、音楽の授業で鐘の音のような高い音を拾ってしまうような状況がありました。リモートでの会話など、そのために音声聞き取れないなどの課題もあるかもしれません。

小山教育長

デジタル教科書はどういった状況でしょうか。

山口指導主事

使い慣れている紙の教科書との併用なので中々活用できていないような状況です。意識の差などもあるかもしれません。

直井委員

デジタル教科書用の指導要領のような物はあるのでしょうか。

山口指導主事

今回文科省から補助をいただいて実施しているデジタル教科書は生徒用の教科書をそのままデジタル化したものですので、指導要領は無いようです。

小林委員

学習支援アプリは、種類によって個別学習に適したものや共同学習に適したものがありますが、どちらを教育的に優先していくか方向性を事前に決めておく方がいいのではないのでしょうか。教育委員会としても一つの思想を持って導入の判断としていった方がいいのではないかと思います。

小山教育長

学校に渡してあとはお任せということだけではなく、先生方が独自で決定するのが困難な場合は、私たちも関わって皆で方向性を決めることも出来るかと思います。

小林委員

これに関連して、以前に田中小学校の授業を見させてもらいましたが、かなりレベルの高い授業だと思いました。デジタルに強い先生方がいらっしゃるとのことで、先生方の理解も重要なと感じます。

小山教育長

向き不向き等ありますが、知識等を共有しながら活用できるような検討も必要かと思います。続きまして、(3)報告に移ります。順次報告願います。

山邊教育課長

ア 新型コロナウイルス感染症対応について報告します。施設の利用制限につきましては小学校中学校ともに通常登校としております。学校開放につきましては現在屋内利用を制限しているところでございます。なお、レベル5に引き上げられた際の社会体育の実施につきましては、8月30日付で教育委員会から市へ社会体育に参加している小中学生について活動を中止するよう要請いたしました。現在はレベル4に引き下げられたためこれを解除し、郊外活動及び部活動についても感染対策を十分に行ったうえで実施することとしております。児童館及び児童クラブにつきましても、感染対策を徹底したうえで通常通り実施しております。また、ボランティアについてはレベル4になった段階で学校ごと判断し実施しています。12歳以上の児童生徒を対象とした新型コロナワクチン接種につきましては、集団接種の1回目を9月4日と9月18日に、2回目を9月25日と10月9日に実施となっており、9月16日時点で対象者1,065人に対し申込者533人となっております。

増田青少年教育係長

田中及び滋野の「げんき塾」につきましては協議のうえで中止及び延期の判断をさせていただいております。また、北御牧につきましては、また判断して学校や保護者へ周知させていただく予定です。

樋沢生涯学習課長

生涯学習関係につきましては、講座については警戒レベル4の状態ではありますが概ね再開しております。また、施設の利用制限については中央公民館地区公民館ともにロビーの利用を制限しております。図書館につきましては平日の開館時間を1時間半短縮しております。

小山教育長

東御市では5月からワクチン接種を行ってきました。副反応に懸念されている方もいらっしゃるのですが、多くの方が接種を完了している状況であり、集団接種から個別接種へと移行していく予定です。

直井委員

レベルが下がることで危機感が緩む可能性も懸念されます。今一度マスクや感染対策の重要性を指導していくことも大切だと感じます。

小林委員

指導してもらうことは前提としても難しいですよね、子どもの情操教育等の教育的観点も考えると正解があるものではないので、万が一を考えながらバランスをとっていくしかないと思います。

小山教育長

ワクチンの副反応や感染したあとの後遺症など様々な情報が飛び交っておりますし、変異株など目に見えないものが常に変化を遂げているので感染対策をとりながら一人一人が意識をもって活動していくしかないと考えます。

山邊教育課長

イ 定期監査報告について説明いたします。

定期監査につきましては前年度の決算状況及び通常行われている事務処理について行われます。監査結果ですが、総合的に判断した結果、概ね「良好」ですが、「効率的な行政運営、継続的な事務の改善に向けて取り組みを強化し、コスト削減に努力することを期待したい」ということであります。監査の意見ですが、各部署共通で収入未済額についてあげられ、教育課は育英資金貸付金で1件ございます。これについては計画的に返済を頂いております。各部署事項ですが、学校教育係に関しては4点ございます。1点目が通学路の安全対策についてです。関係者や関係機関と十分協議・連携して進めております。2点目が体力向上対策についてです。引き続き体力向上に努めたいと考えております。3点目がいじめ・不登校対策と特別支援教育の充実についてです。いじめ・不登校対策と特別支援教育の充実を主軸に、学校や関係部署と十分連携し適切な対応策を講じていきます。4点目がタブレット端末の活用についてです。ソフト面や指導体制を充実させ、タブレット端末を有効活用しICT教育を進めてまいります。次に青少年教育係ですが1点

で、ネットリテラシー教育についてでございます。

樋沢生涯学習課長

次に生涯学習課です。社会教育・公民館係ですが、1点で公民館学習講座の取り組みについて、受講者の減少等あるが、受講者の生きがいや健康づくり等多方面に寄与していることから、市民が参加しやすい状況を維持できるよう努められたいとのことです。次に図書館係ですが、2点ございます。1点目が図書館の利用者増の取り組みについて、2点目が移動図書館車の利用促進についてであります。

小林委員

体力向上対策についてですが、市内の児童・生徒の体力は全国平均よりも低いと推測されるという表現は監査として不適切なのではないのでしょうか。本来は数字等をもとに対策について指摘事項として述べるのが適切ではないのでしょうか。続いて、いじめ・不登校対策と特別支援教育の充実についてとタブレット端末の活用については一般的な意見を述べているだけであり監査とは思えません。また、生涯学習の方に関しましても市民が参加しやすい状況を維持できるよう努められたいと書かれておりますが、コロナ禍の中で十分にやっけていただいていると感じます。図書館までの誘導についてもファサードの工夫をとありますが、しっかりやっけていただいておりますのでこの指摘は間違いです。移動図書館車についても実態を理解したうえで指摘していただきたいと思います。

小山教育長

小学校への移動図書館車についてはコロナの影響もあって密にならないようにしている状況もあります。警戒レベルが下がりようやく動き始めており、保護者の方にも興味関心をもってもらえるような工夫をしていただいていると感じます。

下村委員

体力向上対策については令和2年度のデータがないから推測という文言になったとも考えられますが、体育の授業などを見させてもらおうと登校時に親の送迎があるご家庭の子どもは体力が著しく低いです。自分で歩いて登校することは体力づくりに繋がっていくものですので、朝だけでもとか、距離が遠い人は途中までは送迎するとか工夫も大切かなと感じます。ただしこれは通学路の安全対策にも関係してくるのですが、不審者情報などがあると親は不安になる部分も多いでしょうし、安心して歩ける環境を整えることはとても重要だと感じます。見守りボランティアなどは事故だけでなく犯罪の抑止力としてもとても大切な役割を担っていると感じます。

小山教育長

通学路については安全点検プログラムに基づき関係機関との連携のもと点検をさせていただ

いており、実際の現場を見ながら話し合いをしておりますが、整備などの面は外部機関の協力も必要不可欠となっており、より安全性を確保できるよう協議していきたいと考えています。同時に、警察のパトロールや取り締まり、保護者にも街頭に立ってもらうなどの協力をいただいたり、交通安全協会の皆様にも協力をお願いをしていきたいと存じます。保護者の方々にも通学路の実態を確認してもらえればと思っています。田中駅前の送迎時の混雑さや公共交通にも通じてきますので、そういった取り組みとも繋がられたらと思います。いずれにしても総合的に判断しながら取り組んでまいりたいと考えています。

直井委員

身体教育医学研究所との連携事業なども効果的な活用ができればと思います。登下校の送迎は学校の許可があるわけではないですが、昨今の社会情勢を考えると、なかなか送迎が駄目だとも言いづらいところではあるかと思えます。

小山教育長

親の立場とすると安全の面で不安になる気持ちはどうしても出てきてしまうとは思っています。

岡澤指導主事

送迎の気持ちも分かりますが、そのために子どもが本来の通学路を覚えておらず、車の通れる道しか知らないというケースもありました。歩く機会を設けることも大切だと思います。

直井委員

朝の時間帯ですと、親も忙しい中で送迎しているのでスピードが出ている車も多く見られます。

下村委員

子どもが朝起きられないという場合もありますね。

五十嵐委員

この時間までには起きる等、家庭できちんと時間を決めてリズムを作っていくことも大切だと思います。

小山教育長

通学に関してはやはり保護者の方の協力も必要不可欠ですので、ご意見等を大事にしながら進めていきたいと考えています。

山口指導主事

体力向上事業につきましては、事業者である身体教育医学研究所からの結果が早くあがって

きたので、1学期中に2回ほど体力向上委員会を開くことが出来ました。そのおかげで2学期以降の活動についても先生方が意欲的になって動いていただいています。

五十嵐委員

身体教育医学研究所との連携している体力向上事業は、小学生でも分かりやすい工夫で意識がしやすく、強みの違いも認識できるので子どもたちが楽しく理解できていると感じます。

下村委員

本人が自覚できることはとても大切ですね。

小山教育長

本人の興味関心を高めて主体性や自立性に繋げていきたいと考えます。夏休みに自分で計画を立てて縄跳びに挑戦するという子どもたちもいますし、子どもたちの頑張りを認めて広げていければと思います。

続きまして、ウ 教育課の報告事項についてご報告願います。

長岡指導主事

(ア)修学旅行について報告します。この秋に実施するところが大半となっており、昨年度から県内宿泊を原則として実施します。北御牧小学校は今月末に実施予定でしたが、判断日に警戒レベルが下がらなかったため11月に延期いたしました。また、高原学習ですが判断日の警戒レベルを加味し、祢津小学校は日帰りで2日間、滋野小学校は感染対策をしながら宿泊という形で実施します。いずれにしましても状況をみながら随時判断していきます。

畑田指導主事

(イ)いじめの状況等について報告します。(説明内容非公開)

山口指導主事

(ウ)CRT学力検査及び全国学力状況調査の結果について報告します。まずCRT学力検査について説明します。まず、CRT学力検査について説明します。こちらは毎年行っているもので、小学校は2年生から6年生の国語と算数、中学校は1年生の国語、社会、数学、理科の4教科を実施しました。本年度は判断方法が変わり「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの分類となっております。小学生はどの学年もほぼ全国平均ですが、3年生の思考・判断・表現が全国平均より10ポイント上回っております。反面、2年生と4年生の算数で全国平均を少し下回っている状況もございます。中学生につきましては、4教科とも全国平均以上かほぼ全国平均となっておりますので、学習課題を明示し、感染予防を十分留意したうえで個人追究やペア・グループでの学び合い活動、振り返りや家庭学習の工夫、タブレットの活用等、校長のリ

ーダーシップのもと、研究主任や教科会を中心にさらなる授業改善を推進し、学力向上につなげたいと考えています。

長岡指導主事

続きまして、全国学力状況調査について説明します。小学校は6年生の国語と算数、中学校は3年生の国語と数学を実施しました。小学生の学力の状況はほぼ全国並みや全国平均を上回っておりますが、中学生の学力の状況は課題が見られます。

また、生活状況や学習状況に関する調査については、目標を持って失敗を恐れずに挑戦するという前向きな姿勢や将来の夢や希望なども全国平均より高い傾向でしたので、大事にしていきたいところです。家庭学習や予習・復習がやや弱いとの結果となっています。読書に関する質問では、前回の調査では読書が好きという割合が多くありましたが、今回は中学生の読書時間がやや少なくなっており、本に親しむ時間についても大切にしていかなければと考えます。コロナウイルス感染拡大の休校中に勉強に不安を感じた子どもたちが多くありました。ただし小学生は計画的に学習したり中学生は分からないところを自分で調べたりなど家庭の協力や子どもたち自身で考え行動する様子が窺えます。感染対策が続く現在、子どもたちの安定を常に考えていく必要があると考えます。

五十嵐委員

中学生の読書の時間が少ないとのことですが、朝の時間帯だと学校の図書館が開いていないこともあってなかなか本を借りにいけない現状もあると聞きました。今はコロナの影響で朝部活も無い日がありますし、休み時間は教室の移動だったりでなかなか行けず、本を借りにいけないことがもどかしいこともあるようです。図書館で先生が薦めてくれた本が面白くて読書の幅が広がっているとのことで、市立図書館よりも学校の先生の方が子どもたちはお薦めについて聞きやすく、自習の時間以外にも借りにいきたいという意見もあったので、もし可能であるなら朝に図書館を開けていただけると借りる機会も増えるのではと思います。

長岡指導主事

朝の図書館の開館時間については、様々な理由により開いていない場合もありますが、小学校は朝も開いていたりするので、そのあたりを確認しながら本に触れられる機会を増やしていけたらと思います。

下村委員

読書はすごく大切にしていきたいと思いますので、ぜひとも機会を増やしてもらいたいです。また、数学に関しては懸念事項だと思います。数学は積み上げなので一度躓いてしまうと途端にやる気が下がってしまうのかもしれない。些細なことでもいいので士気を高めながら指導してもらえればと思います。また授業でも前回教えた部分を復習しながら次の問題に繋げてくれるとい

と思います。この問題は前回教わったこの方式を使えば解けそう、と意識を持ってもらえれば楽しくなるかもしれません。

岡澤指導主事

活字に関しては、今は新聞を取らない家庭も多く活字に触れる機会が減っているように思えます。やはり日常的に文章を読むことが減っていると思われます。

小林委員

図書館の開館時間については勤務時間等もあるかと思しますので、検討のうえで可能であれば借りる機会が増えるといいと思います。図書館以外の選択肢も考えると、例えばインターネット上で著作権の消滅した作品等を読める青空文庫というものもあります。タブレットも導入しましたので、そういったものを活用するのもいいかもしれません。

小山教育長

図書館の時間やそれ以外でも子どもたちが本に触れる機会を考えていけたらと思います。

中村学校教育係主査

(エ)通学路の緊急合同点検について報告します。前回の定例教育委員会にて報告させていただきました各学校の通学路の対策要望、それ以外に地元の方からの意見をもとに、関係機関と現地へ赴き合同点検を実施しているところでございます。今後は確認した箇所について各機関で検討のうえ再度協議し、対策に講じて行く所存です。

土屋学校教育係主査

(オ)就学援助費支給の認定について報告します。(内容非公開)

小山教育長

続きまして、エ 生涯学習課の報告事項についてご報告願います。

樋沢生涯学習課長

エ 生涯学習課の報告です。(ア)図書館まつりについて報告します。図書館まつりは11月3日に予定しており、警戒レベルがこのまま下がりそうであれば例年どおりの開催となる予定です。警戒レベルに合わせて状況をみながら中止とはせず規模を縮小しながらの開催を考えています。

小山教育長

ありがとうございました。本日の議題は以上です。それでは、9月度定例教育委員会を閉会します。